

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	英語 2 B
科目基礎情報						
科目番号	101740		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	環境材料工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	前期:4 後期:2		
教科書/教材	MY WAY Logic and Expression 1 (三省堂) DUO 3.0		サブノート ワークブック			
担当教員	佐渡 一邦,木田 綾子					
到達目標						
1. 既習の文法を用いて、英語で簡単なやり取りができる。 2. 伝えたい内容を整理して、論理的な文章が書ける。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	既習の文法を用いて、伝えたい内容を整理して英語でやりとりができる。		既習の文法を用いて、英語で簡単なやり取りができる。		既習の文法を用いた英語でのやり取りができない。	
評価項目2	伝えたい内容を整理して、論理的な文章が書ける。		伝えたい内容を整理して、文章が書ける。		伝えたい内容を英語にできない。	
学科の到達目標項目との関係						
コミュニケーション能力 (E)						
教育方法等						
概要	本科1年までの英語学習を土台としたライティングのトレーニングを通して、積極的に英語でコミュニケーションを取る姿勢を身につけます。					
授業の進め方・方法	文法事項を確認し、教科書の素材を用いたパラグラフ・ライティングを行います。またDUOを用いて単語を学習します。					
注意点	英語1で学習した文法事項や語・慣用表現の定着を図っておくこと。					
本科目の区分						
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。 本科目は履修要覧(p.9)に記載する「②専門基礎科目」である。						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Introduction		1,2	
		2週	Lesson 1 Let's Talk about Ourselves		1,2	
		3週	Lesson 1 Let's Talk about Ourselves		1,2	
		4週	Lesson 2 School Life		1,2	
		5週	Lesson 2 School Life		1,2	
		6週	Lesson 3 The Arts		1,2	
		7週	中間試験			
		8週	試験返却		1,2	
	2ndQ	9週	Lesson 3 The Arts		1,2	
		10週	Lesson 4 Food and Culture		1,2	
		11週	Lesson 4 Food and Culture		1,2	
		12週	Lesson 5 Welcome to Our Town		1,2	
		13週	Lesson 5 Welcome to Our Town		1,2	
		14週	Review		1,2	
		15週	期末試験			
		16週	試験返却		1,2	
後期	3rdQ	1週	Lesson 6 Traveling Abroad		1,2	
		2週	Lesson 6 Traveling Abroad		1,2	
		3週	Lesson 7 Sports		1,2	
		4週	Lesson 7 Sports		1,2	
		5週	Lesson 8 Everyday Technology		1,2	
		6週	Lesson 8 Everyday Technology		1,2	
		7週	Lesson 8 Everyday Technology		1,2	
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	Lesson 9 Take Care		1,2	
		10週	Lesson 9 Take Care		1,2	
		11週	Lesson 9 Take Care		1,2	
		12週	Lesson 10 SDGs - Take Action!		1,2	
		13週	Lesson 10 SDGs - Take Action!		1,2	
		14週	Lesson 10 SDGs - Take Action!		1,2	

		15週	学年末試験			
		16週	試験返却		1,2	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
		英語運用能力の基礎固め	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3		
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3		
評価割合						
			試験	課題等	合計	
総合評価割合			60	40	100	
基礎的能力			60	40	100	